

平成 29 年度

会計管理者の取り組み実績

<部の構成>

会計課

1. 重点施策・事業

(1) 公金の適正な管理

目標	公金の収入・支出が、適正に執行されるよう法令等に基づき、厳正な審査を行うと同時に、各課会計担当者の会計実務能力の向上を図ることにより不適切な会計処理を防止し、公金の適正な管理を行います。
取り組み	各課会計担当者に対し、会計実務研修を行い会計事務に対する認識を高めるとともに、機会を捉え会計事務に必要な情報の提供を行うことで、会計実務能力の向上を図ります。
実績	法令等に基づき、支出手続きに対する審査を厳正に行うとともに、審査情報等の共有化を進め適正な公金管理を行いました。また、各課会計担当者に対して、会計実務研修を11月に実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

(2) 公金の安全で効率的な資金運用

目標	資金運用については、社会経済状況の変化に的確に対応し、公金の安全で効率的な運用を図ります。
取り組み	金融情勢が厳しい中、安全性の確保を最優先とし、今後の収支見込みや余裕資金などを的確に把握したうえで、銀行等の定期預金に加え、国債等による債券運用を行うなど、運用益の確保を図ります。
実績	公金の収入・支出の状況や今後の収支見込みと、余裕資金などを把握しながら、安全性、流動性、効率性に留意し、銀行等の大口定期預金を中心に資金運用に取り組みました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

2. 行政改革・業務改善

◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
審査事務における支出命令書の返戻件数の縮減	会計事務に関わる書類に記載ミス等があった場合は個別指導や再発防止に向けた助言等を行います。また、会計実務研修の実施や啓発文書の配付などにより、各課の会計実務能力の向上を図り、支出命令書の返戻件数の縮減を目指します。

実績	会計実務能力の向上と支出命令書の返戻件数の縮減のため、ミス等があった場合には、再発防止に向けた助言や個別指導等を行うとともに、啓発文書の配付や会計実務研修を実施しました。
取り組みに対する達成状況	
【 ○ 】	

テーマ	取り組み内容・目標
情報の共有化	収入及び支出に関する情報は、会計事務を適正かつスムーズに行うため整理し、課内の共有化を進めます。
実績	必要なファイルを必要なときに利用できるよう電子ファイル情報の蓄積・整理を行うとともに、課内の情報を共有化し、適正に管理することで、事務の効率化を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

3. 予算編成・執行

- ◆歳計現金の資金不足時の資金調達について、基金からの繰替え運用を基本とし、調達額や期間を必要最小限にすることで、借入利息の抑制を図ります。

実績	資金調達については、銀行からの一時借り入れは行わず、調達額や期間を必要最小限とし、基金からの繰替え運用を行うことで利子負担の軽減を図りました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

4. 組織運営・人材育成

- ◆会計課職員が会計実務テキスト等を参考に研修を行い、公金取扱の重要性の認識、コンプライアンス意識の醸成に努め、正確な会計処理ができるように各課会計担当者の資質や実務能力の向上に努めます。

実績	公金取扱の重要性やコンプライアンス意識の醸成を図るため、会計課職員が各課の会計担当者を対象に会計実務研修を実施し、適正な会計処理がなされるように会計担当者の実務能力の向上に努めました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

- ◆北河内7市の会計担当部署で構成する河北会計事務連絡会に参加し、課題研修や情報交換を行うとともに、行政管理講座や債券運用セミナーなどの外部研修に参加することで、審査や出納などの会計実務能力の向上に努めます。

実績	近隣市で構成する「河北会計事務連絡会」が実施する定例会及び勉強会に参加し、研修や情報交換を行い職員の会計実務能力の向上を図りました。また、行政管理講座などの外部研修に職員を派遣し、研修で得た知識の共有化を行いました。
取り組みに対する達成状況	
【 ◎ 】	

5. 広報・情報発信

- ◆平成 28 年度決算書・決算概要説明書は庁内行政資料コーナー及び市内各図書館に配付します。また、過年度分を含む決算情報等については、決算概要説明書をホームページに掲載することで、市民に決算情報を提供します。

実績

歳入歳出決算書や決算概要説明書を庁内行政資料コーナーや市内図書館に閲覧用として配付するとともに、ホームページに決算概要説明書を掲載することで、市民に決算内容の周知を図りました。

取り組みに対する達成状況

【 ◎ 】